

日刊建設通信新聞（2016年4月22日付3面掲載）
【タンザニア初の立体交差点 道路渋滞を解消】

**タンザニア初の立体交差点
 道路渋滞を解消**

三井住友建設

三井住友建設は16日、タンザニア現地で開いた。同工事は日本
 ザニア連合共和国がダルエスサラーラム市内に計画している
 の政府開発援助（ODA）で
 実施される無償資金協力プロ
 ジェクトで、請負金額は約48
 億円。式典では、同国のマグ
 フリ大統領による定礎式の除
 幕式写真、出席者によるテ
 ープカット、伝統民族舞踊な
 どが行われた。



式典には、マグフリ大統領
 のほか、ムバラワ建設運輸通
 信省大臣、ムフガレ道路公社
 総裁、日本からは吉田雅治駐
 タンザニア日本大使、長瀬利
 雄国際協力機構タンザニア事
 務所長、村上哲朗三井住友建
 設常務執行役員らが出席し
 た。

ダルエスサラーラム市はタン
 ザニア最大の都市で、東アフ
 リカの内陸諸国にとっても交
 通の要衝として重要な役割を

担っている。ただ、人口増加、
 経済活動の活発化による交通
 量の増加から、幹線道路の交
 通渋滞が年々悪化し、大きな
 社会問題となっている。この
 工事では、ダルエスサラーム
 市内で最も混雑の激しいタザ
 ラ交差点を同国で初めて立体
 交差点化する。
 工事名称は「タザラ交差点
 改良計画」で、長さ310mの
 PC箱桁橋、長さ540m
 のホロースラブ橋を含む工事
 の総延長は二エレ道路12
 63m、ネルソンマンデラ道
 路262m。発注者はタンザ
 ニア道路公社。設計・施工監
 理はオリエンタルコンサルタ
 ンツグループ・エイト日本
 技術開発JV。工期は201
 5年12月から18年10月までの
 38カ月。